

事業名称

子ども・市民の水辺の生き物学習事業〔報告〕



〔子ども・市民の里山学習体験〕

= 田んぼと小川の生き物編 =

掲示板: 生息するトンボたちを紹介しています!

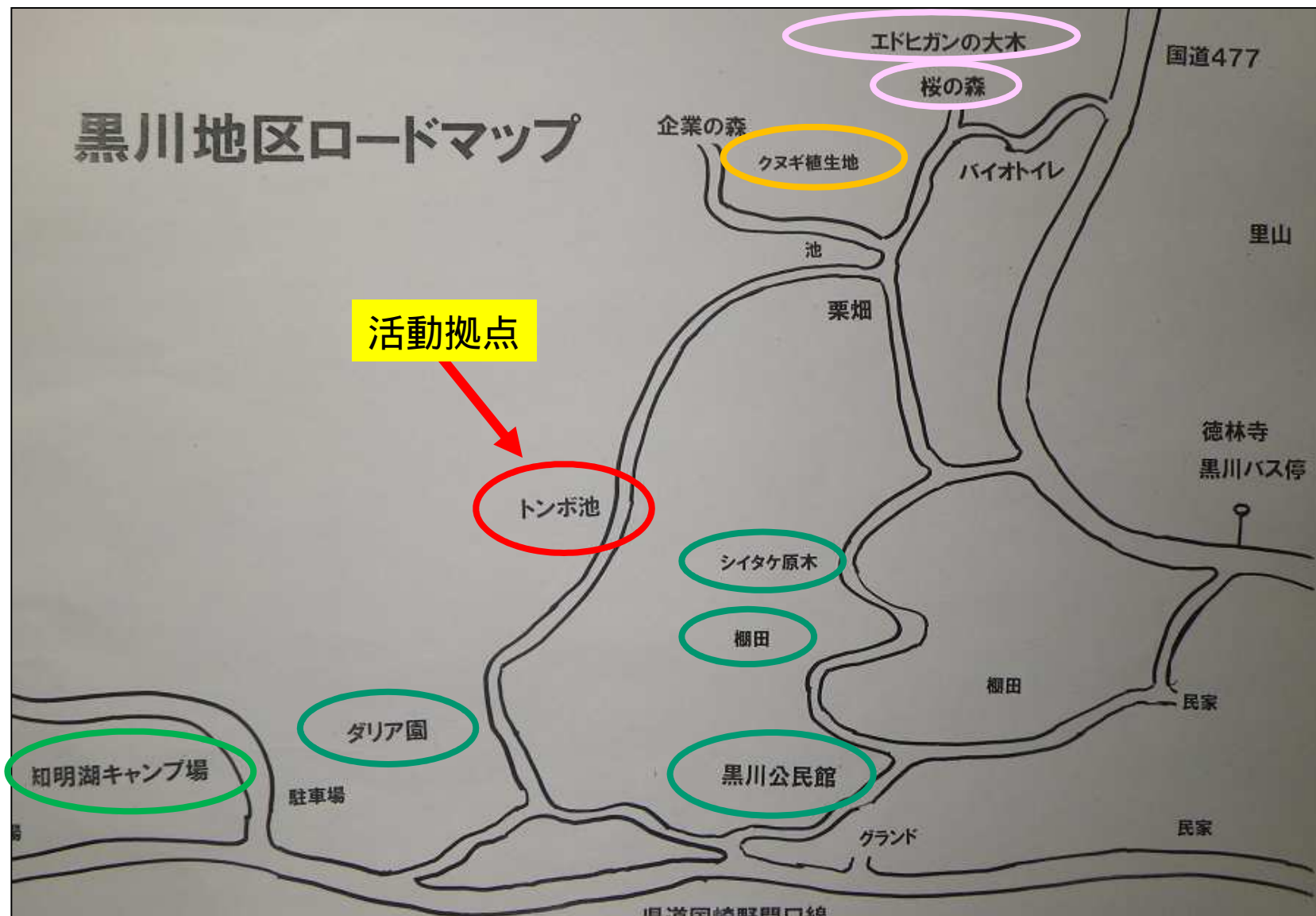


散策道から見えます! トンボ池のようす: 未完成です!



身近な自然とまちを考える会

黒川地区のロードマップから・・・



平成26年度(2014年度)

身近な自然とまちを考える会[NTT] 年間計画と活動結果

活動結果と概要

H26

6月15日〔日〕 北陵小ゴミ観察会に協力! NTTの会例会

7月6日〔日〕 第1回定点調査 集合:9:30

8月30日〔土〕 第2回定点調査 集合:8:00

9月6日〔土〕 河川清掃・臨時調査

9月8日〔月〕 トンボ池確認と整備

9月14日〔日〕 第3回定点調査

「黒川のトンボ池観察会」開催 第3回定点調査を兼ねる!

午前 10:00 30名

午後 13:30 30名 保護者同伴

10月13日 トンボ池周辺草刈

10月25日 川西小ゴミ観察会に協力!

受付 9:30 開催 10:00~11:30 場所 ドラゴン公園

10月26日 黒川トンボ池観察会 第4回定点調査

11月29日 せせらぎ遊歩道調査〔水路生物調査〕

12月21日 トンボ池看板作製検討会 15:30~ 第5回定点調査

H27

1月10日 トンボ池看板作り打合せ 現地視察

1月31日 トンボ池看板作り研修会 材料の運搬と基礎作業

2月21日 看板作製作業 サンドペーパーがけ

2月28日 管板塗装 看板組立試験作業

4月4日 看板・標識設置予定

市制60周年記念イベント

トンボ池観察会

平成26年9月14日〔日〕

黒川地区「とんぼ池と小川」

一回網ですくうとたくさん取れます！



トンボ池の隣には、きれいな小川が流れています！



= 観察時間帯 =

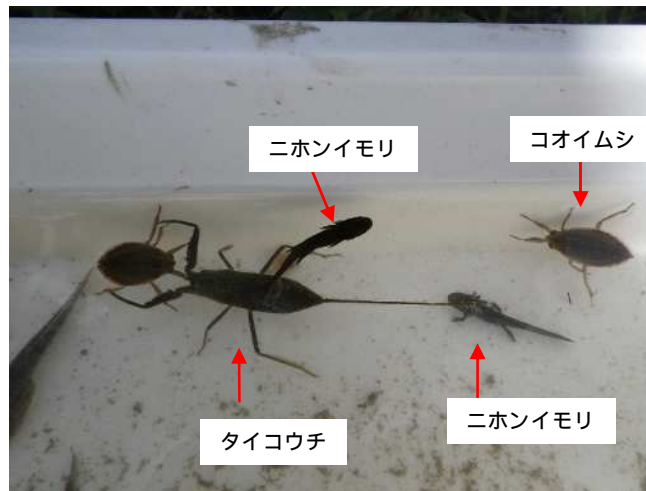
午前：10:00～12:00 午後：13:00～15:00

どちらも30人以上の親子が参加され、有意義な楽しい時間を過ごすことができました。皆さん、身近な自然の不思議さや里山の素晴らしさを満喫されたと思います。

ヤゴ(トンボの幼虫)・ツチガエルなど採取しました！



イモリ、タイコウチ、コオイムシ、ヒメガムシも・・・



採取できた生き物たち

〔トンボ池〕

ミズカマキリ・タイコウチ・コオイムシ・ヒメガムシ・ニホンイモリ・ツチガエル・ヌナガエル・トノサマガエル・アマガエル・フタバカゲロウ・マツモムシ・ナツアカネ・シオカラトンボ・ナガドロムシ

〔トンボ池隣の小川〕

カワヨシノボリ・カワムツ・ヘビトンボ・サワガニ・オニヤンマ・コソボソヤンマ・アサヒナカワトンボ・ダビドサナエ・シオカラトンボ・カトリヤンマ・トノサマガエル・ツチガエル・ヌマガエル・コカクツツビケラ・ウルマーシマトビケラ・シマアメンボ・アメンボ・シロタニガワカゲロウ・コカゲロウ・ヒラタドロムシ

〔花や実〕

キンミズヒキ・キツネノマゴ・ヤイトバナ(ホシホウジャクの幼虫)・ヒメジョオン・クリ・カキなど

〔感想〕

多くの生物に出会えて、知恵袋が一回り大きくなったと思います。

トンボ池と小川の観察会

参加者募集

目的

川西市北部の身近な自然を楽しみませんか。

里の川で、魚・ヤゴ・タガメなどの水生生物、トンボ・チョウなどの陸生昆虫、植物のことなど、いっしょに観察しませんか？ドキドキ・ワクワクのふしぎ・発見に出会えるかもしれません。

さあ、どうぞ！ 自然に飛び込んでみてください。お待ちしております！

期日：平成26年10月26日(日)

10:00～15:00

受付：9:30～ 開催：10:00～12:30

場所：黒川公民館及びトンボ池周辺

所在地：川西市黒川谷垣内295

主催：身近な自然とまちを考える会

対象：市内すべての方々(子・孫・おとな・高齢者の方々)

* 小学4年生以下の参加は保護者同伴でお願いします

募集人数：先着60名

内容：午前「水辺の観察・魚や水生昆虫をゲットしよう！」

午後「本物の不思議さや体のつくり・特徴を知ろう！」

持ち物：川に入れる服装、滑らないズックと長ズボン等、靴・衣服等の替え。

弁当・おやつ、魚や水生昆虫をすくう網、入れ物・剪定バサミ・軍手など。

申し込み方法

電話で事務局まで

事務局(石津方) FAX:774-3516 電話:774-3515

水生昆虫の王様：タガメ



春の黒川小学校(現黒川公民館)

つるで創ったかご



案内掲示板づくり

間伐材のヒノキをいただいて切って運びました！



ヒノキの皮むきチャレンジ

看板用5本〔太い材木、直径20cm以上〕と道標用6本



1本ずつサンドペーパーで磨きました！



仮組立を行いました！



掲示板の足場を固めて立てました！



採取生物結果 中央北地区水路調査 H26.11.29

30種類以上の多種多様な生物を採取しました！一部紹介します！

ヤリタナゴ(コイ科) 兵庫県RD:Cランク



オイカワ(コイ科)



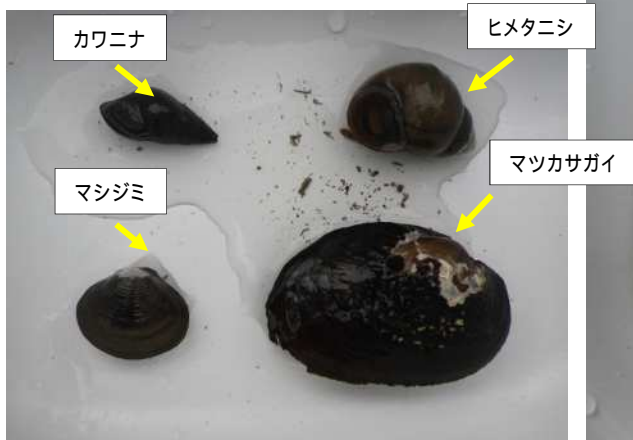
水路の底や壁には「カワニナ」が無数に生息していました！



都市部では、なかなか見られないトンボが発見できました！



貴重種のマツカサガイなど多くの貝を発見！



ダビドサナエ (サナエトンボ科)

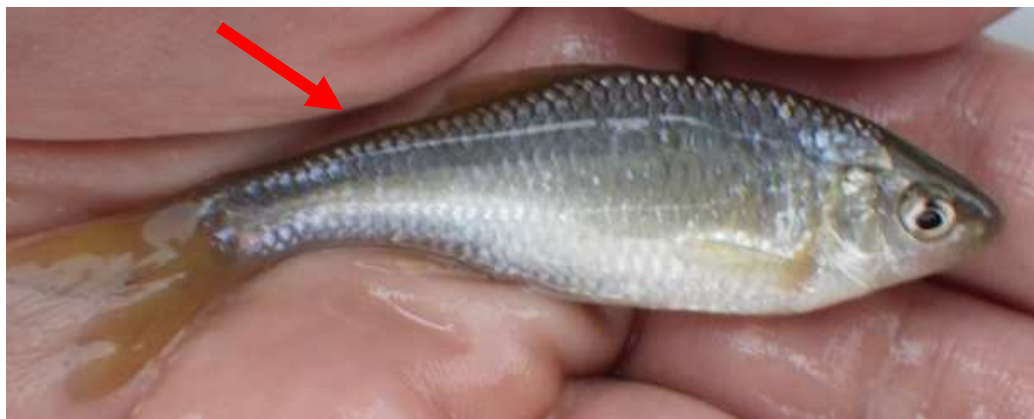


ミナミヌマエビ (ヌマエビ科)



クローズアップ！都市部ではなかなか見られません！が 中央北地区の水路に貴重な魚や二枚貝、トンボ〔ヤゴ〕を発見！

アップ ヤリタナゴ〔コイ科〕 兵庫県RD:Cランク



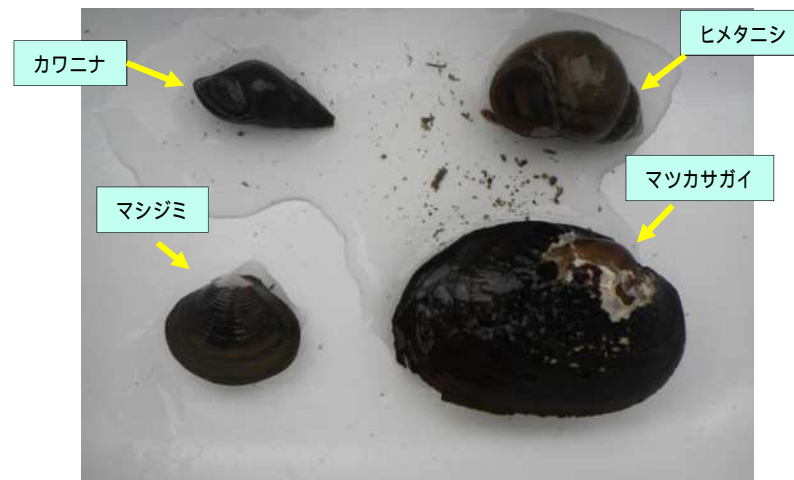
アップ 水路の底や壁には、ゲンジボタルのエサになる「カワニナ」が無数に生息していました！



アップ 日本一大きいサナエトンボ「コオニヤンマ」発見



アップ 貴重種のマツカサガイやシジミなどを発見！



成果について その1

= 水辺観察ゾーン〔トンボ池〕完成に向けて =

事業では、トンボ池の最終完成のための「トンボ池」掲示板と観察回廊の整備、現地までの道標を製作しました。

案内掲示板について

生息するトンボや昆虫、魚・水生生物について、写真と解説付資料を掲示できるタイプを製作しました。これを見れば、そこに生息する生き物の種類や特徴の一端を理解でき、実地体験に役立つと思います。

観察回廊の整備について

大勢の観察者がトンボ池の畦に沿って歩かれます。枕木等で観察池と観察回廊は分離しましたが、回廊地盤が弱いため一層の補強が求められます。周辺の耕作者の方々の理解と協力を得つつ進めました。

身近な生物調査

1年間通して、トンボ池と小川周辺、猪名川水系の生物調査を実施し、小さな動物・植物の種類等をまとめることができました。

小さなイベント・ネットワークづくり

本研究会では、定期的に、子どもたちや市民を対象に、トンボ池を中心とした黒川の里山で、親子観察会や市民対象の実地研修会を行いました。

「親子の水辺観察会」= 田んぼと小川編 = と題して、H26.9.14、H26.10.26、約60人の親子観察会を実施しました。黒川地域の方々、学校関係者、関連団体等の協力を得て開催できました。

成果について その2

里山体験学習との関連

市内小4学年対象に実施されている「里山体験活動」の学習プログラムに導入していただけるよう働きかけを行いました。

トンボ池の完成後、小学校4年生の里山体験事業の学習ゾーンに付加していただくことにつながりました。〔H27年度から〕

観察指導員の育成

発展的・継続的に自然体験活動や研究調査を行うことで、観察指導員の育成やボランティア活動の発展に寄与することができました。

子どもたちや市民への興味・関心

里山の自然の生き物をじっくりと観察し紹介できる場所、ゾーンを整備し、活用することで、子どもたちや市民の里山や自然環境への意識・関心を高める一助となりました。

川西市のワークショップでも行われましたが、中央北地区の水路の生き物調査を行い、マツカサガイ・ヤリタナゴ〔兵庫RD：Cランク〕・カワニナなど発見しました。

地域おこしの一助として

黒川地域中心のまちづくりに協力することができます。例えば、黒川まつり等で、イベント等で里山のフィールドやトンボ池での観察コースを多くの方々に紹介することができました。

今後の課題として…思い・願い

組織の活性化とネットワークづくりを図ること

本研究会は、40代以上のメンバーで構成されていますが、近い将来、若手の会員を増やし、実践活動を重ねることで、持続可能な市民活動を展開していくことができます。関係機関や各団体とのネットワーク化・連携・協働が必要と考えています。

休耕田の活用について

市域・近隣でも休耕田が増える可能性があります。知明湖キャンプ場やダリア園から北側にのびる棚田、「桜の森」に至るまで、すぐれた景観を保っています。に関連しますが、例えば、休耕田の活用とともに、「日本一の里山」を満喫し“日本一おいしい里山そば”を食する「そば屋」さんを……。いろいろなものをつなぐと……。

地域おこしの一環として

四万十市は、「トンボ王国」のような市・関係団体・市民総がかりで、まちおこしをされています。

現在、黒川地域全体は、兵庫県北摂里山博物館の1つに位置付けられています。「里山・自然」「食」「地産地消」「建造物」を含めた集客・生涯学習ゾーンにつながればと願うところです。

兵庫県景観形成重要建造物 旧黒川小学校



私たち「身近な自然とまちを考える会」は、川西が大好きです。
自然を生かし、身近な自然との共生は、命や健康にも、大いに関係
します。「日本一の里山」は、川西の誇りであり、日本の財産です。
地域の方々の願いや思いを大切にし、川西市が進められている北部
の地域づくりのお手伝いをしていくことができれば幸いです。
よろしく願いいたします。

十四の瞳、岬小学校にも勝る

〔旧〕黒川小学校！

身近な自然とまちを考える会